



私のひとりごと

「新商品開発」

増税前のこの時期は、毎度の事ながら資材が“ナイナイ” 尽くしとなる。断熱材が無い、エアコンが無い、温水器が無い・・・など、入荷の目途も立たない状況である。話によると、大手ハウスメーカーの大量仕入れが原因の一つだそうだ。大量仕入れを基本とする大手ハウスメーカーの場合、消費税率3%アップによって利益が大きく左右されるという事は容易に想像できる。そう考えると致し方ない事かもしれないが、それでも大量買い込みが業界全体に与える混乱と被害は大きい。ただ、その原因は大手メーカーばかりとは言いきれないところもあり、我々地元の工務店も含め、業界全体が増税前の駆け込み受注により建材の品薄を招いているのである。ところが今回、生産メーカーの対応が過去の増税時と明らかに違っている。在庫目的の注文には一切応じず、現場で使用することが明らかになっている発注を優先している。本当に困っている所に資材が供給されるように努力してくれているのだ。当社にも商社の営業マンが度々訪れるが、あれが無いこれが無いといった会話の中にも、「何とか迷惑を掛けないようにしたい」という相手の想いが伝わり、大変な中にも心は暖かい。考えるに東北の震災以降、「絆」や「助け合い」といった人間本来の生き方に日本全体が目覚めた結果と思われる。また、彼らは取引相手として「大きい、小さい」「力がある、力がない」ということで動いている訳ではなく、相手が「誠実か否か」という人間性をみて動いているとも考えられる。この事は私の心に強く叩き込まなければならぬと感じた・・・。



この度の受注増で皆が浮かれている訳ではない。上がれば落ちるのが世の常で、増税後の受注の冷え込みを見据えて各建材メーカーは新商品開発に力を注いでいる。勿論当社も例外ではなく、現在、新たな商品開発に向け準備を進めている。先日、大手建材メーカーの新商品発表会へ、情報収集を兼ねて参加させて頂いた時のこと。会場は名古屋になっており、商社さんが準備してくれたバスで敦賀を10時に出発。途中、車内で昼食となった。私は乗り物酔いしやすく、ゆっくり味わっている余裕もないので一気に頂くことにした。ところが、おかずの一品にチリメンジャコがあるではないか。箸で細かくつまんでいては乗り物酔いしそうである。余裕がないせいも手伝って大半を食べ残そうとしたその時、不意に仕事のことが頭をよぎった。我々は毎日、無垢の木材を扱っている。現代では、使える使えない、気に入る気に入らないという観点で木材の良し悪しを判断し、癖のある使いにくい物は処分されてしまうのが一般的である。あまりにも癖が強いと、反りやねじれによって後々の不具合につながり兼ねないからである。昔は壁や床には隙間があって当たり前という時代であったため、木の癖を見定めた上、適材適所で最後の一本まで使い切ったものである。そんな事を考えると急にチリメンジャコに申し訳なく思え、一つ一つ丁寧に「美味しい」と言って頂くことが、自分にできるせめてもの責任であると感じた。

歴史を重ねた木材は人に安らぎを与える。高級車や特急電車の一部に無垢の木材が使われているのも納得できる話である。大地の恵みを受け、幾人もの手によって大切に育てられた木材を決して無駄にしてはならない。どうやら、新商品開発に向けてのヒントはそこに有るような気がした。まさか「チリメンジャコ」に教えられるとは・・・。

ではまた来月もお会いしましょう。
今月も最後まで読んでいただき・・・、

あーがしう
ごさいました!!

